



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

WEEKLY REPORT

高松東ロータリークラブ 週報

会長:森 和夫 幹事:長尾 直樹



プログラムのご案内

今週

(創立第2557回) 令和04年06月07日

各委員長年間報告 I

次週

(創立第2558回) 令和04年06月14日

各委員長年間報告 II

前週例会レポート

創立第2556回例会出席報告 令和04年05月31日

前々回の訂正	会員総数	出席免除会員
05/17 100%	45名	(a)1名 (b)8名
出席計算に用いた会員数	出席会員数	出席率
44名	40名	90.91%

会長挨拶

こんにちは。新さん(東京神田ロータリークラブ)、ようこそお越し頂きました。神田といえば、昔神田の中華料理屋で店長をしていたことがあります。

アラム君、(睡蓮の置物)ありがとうございました。クラブの財産として大切にさせていただきます。

先週の例会後に新旧クラブ協議会があり、私は早々に帰ったのですが、極めて円滑に引継ぎが出来たと聞き大変喜んでおります。

先ほどご案内した香川大学の多田教授より瀬戸内海的环境と題して話して頂くことになっています。前回11月にして頂いたのですが、瀬戸内海環境保全臨時措置法ができ50年近くなる。それでどんどん海がきれいになって、魚が住めなくなり、海苔に色がつかない。正に“水清ければ魚棲まず”です。海もですが、山も荒廃している現状があります。森林はCO2を吸収して地球温暖化に役立つ。しかし日本は経済を優先して山を元気にしようとすれば木をどんどん植えて、しかもそれを伐採して、木の間隔をだんだん大きくしていく必要がある。しかし間伐材を全く利用していない。山を登るとわかるのですが、切った木をそのまま放置している。本当は間伐材を使って割り箸を作って消費するのですが、蔭久さんはうどん屋へ行くと、割り箸の先が細く割れると気分が悪いからすぐ新しいのに取り替える。私はもったいないのでそのままうどんを食べるのですが、よく考えるとみんなが割り箸を無駄に使って間伐材をどんどん使おうと。しかし、割り箸は中国産が90%で日本産はほんの1割です。でも日本産の割り箸は間伐材ですので端の方が割れる。あれに当たると良い割り箸に当たったと感謝をして、次の割り箸を割って食べる。そうして割り箸をどんどん使って森林保全に努めて頂きたい。

今日は多田教授が25分話しますので私はこれで終わります。ありがとうございました。